

長月、皐月、□初霜、若葉、子日、初春、
 □睦月、如月、彌生、卯月、□朔潮、滿潮、
 (大潮) □疾風、追風
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
 呂六一、呂六二、呂六三、呂六八、
 呂六五、呂六七、□伊六三、伊五九、
 伊六〇、□伊二二、伊二一、□伊二三、
 伊二四
 □千鳥、初雁、友鶴、真鶴
 敷島、問宮、鶴見、洲崎、野島
 (夏雲) (伊七四)
 【長崎】(利根)▲
 【馬公】□松風、春風、朝風、旗風
 【基隆】狹霧
 知床
 【高雄】夕張
 【鎮海】葦
 【釜山】柿
 【作業地】□出雲、▽天龍、龍田、▽妙高、多摩、▽安宅、
 嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、
 熱海、二見、▽木曾、▽神威、白鷹、□足柄、
 ▽沖島、駿島、▽能登呂、駒橋、勝力、淀、
 ▽加賀、八重山
 栗、梅、蓮、□電、雷、響、□曉、漣、
 □芙蓉、朝顔、刈萱、□菊月、望月、夕月、

三日月、□薄、□菊、葵、萩、□初雪、
 吹雪、白雪、□若竹、吳竹、早苗、榆、
 □島風、灘風、沙風、□山風、海風、江風、
 涼風
 □伊六一、伊六二、伊六四、□伊六五、
 伊六六、伊六七
 □鴻、隼、鶴、鴨、□雉、鷲、雁、鳩
 □掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
 □掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、
 掃一八
 ▽朝日、膠州、早鞆、襟裳、室戸、鳴戸
 【航海中】
 佐多 (二日馬公發—佐世保へ)
 長良 (三日佐世保發—高雄へ)
 鳳翔 (四日吳發—横須賀へ)
 呂六四 (四日佐世保發—神戸へ)
 呂六六 (四日佐世保發—横須賀へ)

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千七百八十三號

海軍大臣官房

昭和十二年十二月七日(火)

○令 達

官房第一六七七號ノ三
 本年官房第一六七七號昭和十二年度滿洲事件費ヲ以テ
 經費ヲ支辨スベキ各部中左ノ通改正ス

昭和十二年十二月七日

海 軍 大 臣

一 常時派遣艦船中「夕張」及「第十四驅逐隊(菊、葵、萩)」ヲ削ル

二 臨時派遣艦船中「第十三驅逐隊(若竹、吳竹、早苗)」ヲ削ル

官房第六二六〇號

艦營需品定額表中數量左ノ通定ム

昭和十二年十二月七日

海 軍 大 臣

主 計 長 主 管

備品第七類 エキスコンフアイル 乙

海軍公報(部内限) 第二千七百八十三號

昭和十二年十二月七日

一三〇九

艦 船 部 隊 名	管主本	管主他	計合	記 事
軍艦、驅逐艦、潜水艦、水雷艇、掃海艇、特務艦、海兵團、防備隊(研究所用、股替團)、航空隊(豫科練習部、女部分遣隊、陸、海、山及陸、原飛行基地ヲ除ク)、通信隊(分遣隊)、艦隊司令部、戰隊司令部、水雷戰隊司令部、潜水戰隊司令部、航空戰隊司令部、驅逐隊、潜水隊、掃海隊、水雷隊、要港部(舞鶴ヲ含ム)、駐滿海軍部、在勤武官、上海特別陸戰隊、舞鶴要港部、港務部、同軍需部				特設艦船部隊ニ對スル定數ハ別ニ定ム
消耗品第十二類 週報				
消耗品第十三類官報ノ定數ト同數				
官房機密第五〇三八號				
昭和十三年度ニ於テ採用スベキ各種練習生ノ員數ヲ左				

ノ通定ム
 昭和十二年十二月七日
 海軍大臣

水雷術		普通科		水雷術		高等科		普通科測的術	高等科測的術	普通科砲術	高等科砲術	特修科砲術	練習生種別	所管		
機雷	航空魚雷	魚雷	機雷	航空魚雷	魚雷	機雷	航空魚雷	魚雷	魚雷	魚雷	魚雷	魚雷	横須賀鎮守府	吳鎮守府		
一〇〇	四〇	二二〇	五〇	二〇	一一〇	二〇〇	二〇〇	七五	六〇〇	一七〇	一七〇	一七	鎮守府	鎮守府		
一〇〇	二〇	二四〇	五五	一〇	一三〇	一九〇	一九〇	五五	五六〇	一五〇	一五〇	一三	鎮守府	鎮守府		
八〇	二〇	二〇〇	五五	一〇	一一〇	一七〇	一七〇	五〇	四四〇	一四〇	一四〇	一二	鎮守府	佐世保鎮守府		
二八〇	八〇	六五〇	一六〇	四〇	三六〇	五六〇	五六〇	一八〇	一、六〇〇	四六〇	四六〇	四二	合	計		
高等科		普通科		水雷術		航空術		電信術		普通科		高等科		運用術		
兵寫器	兵器	偵察(豫定者)	飛行種	飛行種	甲種飛行	乙種飛行	志願兵	徵兵	志願兵	徵兵	普通科	志願兵	徵兵	普通科	志願兵	徵兵
四	三	三	一七	一五	一三	四五	三〇〇	二七〇	二三〇	八〇〇	二二〇	一六〇	一八〇	二二〇	一四〇	二六〇
三	三	三	一七	一五	一三	四五	三〇〇	二七〇	二三〇	八〇〇	二二〇	一六〇	一八〇	二二〇	一四〇	二六〇
一〇	一〇	一〇	一七	一五	一三	四五	三〇〇	二七〇	二三〇	八〇〇	二二〇	一六〇	一八〇	二二〇	一四〇	二六〇

工 術	特 修 科			普 通 科 電 機 術	高 等 科 電 機 術	機 關 術		普 通 科	機 關 術	高 等 科	普 通 科 整 備 術	高 等 科 整 備 術	航 空 兵 器 術		
	工 業 屬	工 木 業	工 金 業			掌 罐	掌 機						掌 罐	掌 機	兵 器
一〇〇	四	五	二〇〇	一〇〇	二五〇	一一〇	二五〇	九〇	五五	一一〇	六三〇	二二〇	八	四〇	
一〇〇	四	四	一八〇	七五	二三〇	九〇	二七〇	八五	五五	一一〇	三〇〇	八〇	六	三〇	
八〇	三	四	一六〇	七五	二二〇	八〇	二三〇	七五	四〇	一一〇	三二〇	一〇〇	六	三〇	
二八〇	一一	一三	五四〇	二五〇	七〇〇	二八〇	七五〇	二五〇	一五〇	三三〇	一、二五〇	四〇〇	二〇	一〇〇	
備考 一、練習生ニシテ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見 込無キ爲及其ノ他ノ事由ニ因リ之ヲ免ジタル場合ニ 於テ教育開始後十日以内ナル時ハ補缺採用ヲ爲スコ トヲ得					潜 航 術				掌 厨 術	普 通 科 經 理 術	高 等 科 經 理 術	普 通 科 看 護 術	高 等 科 看 護 術	特 修 科 軍 樂 術	工 木 業 具
					掌 電 機	掌 機	掌 水 雷 (機 雷)	掌 水 雷 (魚 雷)							
					七〇	一〇	七〇	五〇	六〇	三〇	五〇	四〇		六〇	
					五〇	一〇	六〇	五〇	六五	三〇	七〇	五〇		四〇	
					一八〇	一八〇	二〇〇	一六〇	二〇〇	一〇〇	二一〇	一四〇		一五〇	

海軍公報(部内限)第二千七百八十三號

昭和十二年十二月七日

二二二

二、海軍練習航空隊規則第二十三條ノ二、同第二十二條ノ三及同第二十二條ノ四ノ規定ニ依リ練習生トシテ採用スベキ者ハ本號ニ定ムル告達員數以外トス

昭和三十二年度ニ於テ採用スベキ高等科運用術操舵練習生及高等科運用術應急練習生ハ海軍航海學校規則第二十二條ノ規定ニ依ル官職階及同條第三號ノ海上勤務日數ノ有無ニ拘ラズ之ヲ選抜採用ス

昭和三十二年十二月七日
海軍大臣

○通牒

軍務一機密第四六二號
昭和十二年十二月七日

海軍省軍務局長

各鎮守府
各要港部
各艦隊
駐滿海軍部
參謀長殿
機密保持ニ關スル件申進
首題ノ件ニ關シテハ從來屢申進セシ處ニシテ各部ニ於

内令提
要登載

テモ深甚ノ考慮ヲ拂ハレ居ルコト存ズルモ尙未ダ徹底セザル憾アリ注意ヲ要スル實例尠カラザル實狀ニ在ルハ眞ニ寒心ニ堪ヘザル次第ニ有之時局ニモ鑑ミ左記諸點ニ付特ニ御留意相成度

記

- 一、暗號ノ取扱ニ關シ
暗號ノ取扱ニ際シテハ諸規定ヲ嚴守スルコト
- (一) 親展電報ノ中繼信、傍受信ハ絕對ニ之ヲ翻譯セザルコト
- (二) 軍機若ハ軍極秘事項ヲ記述スル親展ノ暗號電報ヲ着信者、受報者若ハ其ノ指定者以外ニ於テ翻譯了知スル行爲ハ軍機保護法ニ抵觸ス
- (三) 暗號電報ノ發信原文及著信、中繼信、傍受信ノ翻譯文ハ其ノ内容ノ性質ニ應ジ之ガ閱覽ヲ禁ジ又ハ閱覽者ヲ制限ス
- 二、個人ノ通信ニ關シ
(一) 個人ノ通信文中ニハ絕對ニ軍機若ハ軍極秘ニ關スル事項ヲ記載セザルコト
- (註) (イ) 事變地ニ在ル者ヨリノ通信文中軍機、軍極秘ニ該當スルト認めララルモノヲ記載スルモノ尠カラズ

(ロ) 個人ノ通信文中ニ軍機若ハ軍極秘ニ關スル事項ヲ記載スル行爲ハ軍事上ノ秘密ヲ他人ニ漏泄スル行爲ニシテ軍機保護法ニ抵觸ス

(二) 軍事上ノ秘密ヲ保護スル爲必要ナル場合ニハ檢閱ヲ經ズシテ一切ノ私信ヲ發信スルヲ禁ズルコト

三、機密文書ノ取扱ニ關シ

(一) 機密文書ニ對シ行フ「軍機」、「軍極秘」等ノ指定ハ軍機保護法、同施行規則等ニ照シ文書ノ内容ニ適合スル如ク慎重ニ行フコト

(註) 内容軍極秘ニ相當スルモノニ對シ秘ノ指定ヲ爲スガ如キモノ又ハ内容秘ニ相當スルモノニ對シ軍極秘又ハ軍機等ノ指定ヲ爲スモノ或ハ又軍極秘又ハ軍機ノ指定ヲ爲スベキモノニ何等ノ指定ヲ爲サザルモノ等尠カラズ

(二) 機密文書ノ發送ニ關シ

軍機、軍極秘書類ヲ發送スル場合ニハ海軍機密書類取扱規則第二十條乃至第二十五條ノ規定ヲ嚴守スルコト

(註) 近來機密書類ヲ發送スルニ當リ包裝極メテ粗末ニシテ受領者ニ到達スル際ハ既ニ包裝破損シ内容露出シアルガ如キ事例尠カラズ

軍需第四六五號

昭和十二年十二月六日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

航海長主管艦營營品備品信號書囊更新ニ關スル件通牒

達第七七十二號ヲ以テ首題物品ニ對スル定額表ノ摘要改正ニ伴ヒ現供用中ノ該品ハ全部更新スルコトト相成候ニ就テハ之ニ要スル經費ハ供給豫算外ニテ處理スル義ト了知相成度尙本品ハ短艇派遣等ノ際海軍信號書乙携行用ニ有之候爲念

經豫機密第三號ノ一二

昭和十二年十二月六日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

拿捕抑留船舶ノ載貨ニシテ換價處分ヲ爲シタル代金ノ保管ニ關スル件通牒

首題ノ件左ノ通決裁相成候

官房機密第四九八二號昭和十二年十二月三日決裁
拿捕抑留船舶ノ載貨ニシテ換價處分ヲ

海軍公報(部内限) 第二千七百八十三號

昭和十二年十二月七日

一一二二

爲シタル代金ノ保管ニ關スル件

拿捕抑留船舶ノ載貨中拿捕船舶調査委員會調査手續第五條ニ依リ司令長官又ハ司令官ニ於テ換價處分ヲ爲シタル場合其ノ代金ハ歳入歳出外現金トシテ司令長官又ハ司令官ノ指定スル收入官吏ヲシテ保管セシムルコトト致シ可然哉

○ 辭 令

海軍大佐 柿本權二郎
 通信部第十一課長兼同第十二課長ヲ命ス
 同 中澤 佑
 參謀部第一部第二課長ヲ命ス
 同 橋本 象造
 參謀部第二部第四課長ヲ命ス
 同 西田 正雄
 參謀部第三部第八課長ヲ命ス
 海軍中佐 鹿目 善輔
 參謀部第一部第二課勤務ヲ命ス
 同 川井 繁藏
 參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス

通信部第九課勤務ヲ命ス 同 小野田拾次郎
 參謀部第三部第五課兼報道部第一課勤務ヲ命ス 同 志岐 常雄
 海軍少佐 佐藤 述
 通信部第九課勤務ヲ命ス 同 安田 蒨
 通信部第十一課勤務ヲ免シ同第十課勤務ヲ命ス 海軍少佐 吉田 英三
 參謀部第三部第七課勤務ヲ命ス 同 井上 憲一
 參謀部第二部第三課勤務ヲ命ス 同 堀之内 美義
 參謀部第一部第二課勤務ヲ命ス 同 大井 篤
 參謀部第三部第八課勤務ヲ命ス 同 大勳位 宣仁 親王
 參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス 海軍少佐 江口 穂積
 參謀部第三部第七^(七)課勤務ヲ命ス 同 金元 好廣

參謀部第三部第五課勤務ヲ命ス	海軍大尉 井野 榮一	第一部第二課勤務ヲ命ス	軍令部部員同	川井 繁藏
通信部第十一課勤務ヲ命ス	同 佐藤 欣重	第二部第四課勤務ヲ命ス	同	小野田 拾次郎
參謀部第三部第六課勤務ヲ命ス	同 福島 勉	第四部第九課勤務ヲ命ス	同	志岐 常雄
參謀部第三部第八課勤務ヲ命ス(以上二部大木營海軍部)	軍令部出仕海軍少將 中杉 久治郎	第三部第五課勤務ヲ命ス	同	海軍少佐 佐藤 述
第四部勤務ヲ命ス	軍令部出仕兼課長海軍大佐 柿本 權一郎	第四部第九課勤務ヲ命ス	同	同 安田 翁
第四部第十一課長ヲ命ス	軍令部課長海軍大佐 中澤 佑	第四部第十一課勤務ヲ免シ同第十課勤務ヲ命ス	同	吉田 英三
第一部第二課長ヲ命ス	軍令部出仕同 岡山 英勅	第三部第七課勤務ヲ命ス	軍令部出仕兼部員海軍少佐 井上 憲一	
第四部第十一課勤務ヲ命ス	軍令部課長同 橋本 象造	第二部第三課勤務ヲ命ス	軍令部部員同	堀之内 美義
第二部第四課長ヲ命ス	同 西田 正雄	第一部第二課兼第二部第三課勤務ヲ命ス	同	大井 篤
第三部第八課長ヲ命ス	軍令部出仕海軍中佐 鹿目 善輔	第三部第八課勤務ヲ命ス	同	同 大勳位 宜仁 親王
		第一部第一課勤務ヲ命ス	同	

海軍公報(部内限) 第二千七百八十三號 昭和十三年十二月七日

第三部第七課勤務ヲ命ス 同 海軍少佐 江口 穂積
 軍令部出仕同 金元 好廣
 第三部第五課勤務ヲ命ス 軍令部出仕海軍大尉 井野 榮一
 (各通) 同 同 中島 親孝
 同 同 谷岡 平八郎
 第四部第十一課勤務ヲ命ス 同 同
 同 同 佐藤 欣重
 第三部第六課勤務ヲ命ス 同 同 福島 勉
 同 同 同 同
 第三部第八課勤務ヲ命ス(以上三請軍令部)
 海軍大佐 伍賀 啓次郎(艦本)
 同 鎌田 道章(加古)
 海軍中佐 古賀 善吾(佐艦)
 同 木本 伍六(艦本)
 同 三浦 速雄(同)
 海軍少佐 三井 涓三(加古)
 同 篠原 多磨夫(佐艦)
 同 島 忠三郎(加古)
 (各通) 同 中山 義則(艦本)

海軍機關中佐 川岡 三千郎(佐艦)
 同 北川 政(艦本)
 同 鳥居 新三(加古)
 同 秋重 實恵(軍務)
 同 宮本 武(佐艦)
 海軍機關少佐 藁谷 英彦(艦本)
 海軍造船中佐 小堀 龍造(佐廠)
 海軍造船少佐 小野 亮(艦本)
 海軍造兵少佐 平野 亮(艦本)
 軍艦加古審議委員ヲ命ス
 海軍大佐 伍賀 啓次郎(艦本)
 同 寺岡 謙平(蒼龍)
 同 有賀 武夫(艦本)
 海軍中佐 佐々木 喜代治(吳艦)
 同 小倉 眞二(艦本)
 同 松尾 實(同)
 同 星 一男(航本)
 同 杉浦 矩郎(軍令)
 同 小田原 俊彦(蒼龍)
 同 松村 翠(軍務)
 同 齋藤 彌吉(蒼龍)
 海軍少佐 榎尾 義男(吳艦)
 (各通) 同

同 大友 文吉(蒼龍)
 海軍機關大佐 藤井 芳郎(艦本)
 海軍機關中佐 田原 邦三(吳艦)
 同 伊勢 貞良(蒼龍)
 同 釜田 勇(軍令)
 同 石塚 正俊(艦本)
 同 今田 乾吉(吳鎮)
 海軍造船大佐 渡邊 隆吉(艦本)
 海軍造船少佐 武富 猪一(吳廠)
 軍艦省龍審議委員ヲ命ス(以上皆同前)

○ 雜 款

○ 旗艦變更
 第三航空戰隊司令官ハ十二月四日旗艦ヲ香久丸ヨリ神威ニ變更セリ

○ 將旗掲揚
 第四航空戰隊司令官ハ十二月五日將旗ヲ能登呂ニ掲揚セリ

第一根據地隊指揮官ハ十二月五日將旗ヲ朝日ニ掲揚セリ

第七戰隊司令官ハ十二月六日將旗ヲ熊野ニ掲揚セリ
 第二航空戰隊司令官ハ十二月六日將旗ヲ龍驤ニ掲揚セリ

○ 司令驅逐艦變更
 第六驅逐隊司令ハ十二月四日司令驅逐艦ヲ雷ヨリ電ニ變更セリ

第十六驅逐隊司令ハ十二月六日司令驅逐艦ヲ芙蓉ヨリ刈萱ニ變更セリ

第十九驅逐隊司令ハ十二月六日司令驅逐艦ヲ浦波ニ變更セリ

第二十四驅逐隊司令ハ十二月三日司令驅逐艦ヲ海風ヨリ山風ニ變更セリ

○ 司令潜水艦變更
 第九潜水隊司令ハ十二月三日司令潜水艦ヲ伊號第二十潜水艦ヨリ伊號第二十三潜水艦ニ變更セリ

第十三潜水隊司令ハ十一月三十日司令潜水艦ヲ伊號第二十二潜水艦ヨリ伊號第二十一潜水艦ニ變更セリ

第二十八潜水隊司令ハ九月七日司令潜水艦ヲ伊號第十九潜水艦ヨリ伊號第六十三潜水艦ニ變更セリ

0615

海軍公報(部内限) 第二千七百八十三號 昭和十二年十二月七日

二二八

○郵便物發送先

第三潜水戦隊司令部、軍艦球磨、第九潜水隊、第十潜水隊宛

自今

佐世保郵便局氣付

軍艦長良宛

自今

佐世保郵便局氣付

第十一驅逐隊(初雪、白雪、吹雪)宛

自今

吳

第十一水雷隊(雉、鷺、雁、鳩)宛

自今

吳

○艦船所在

印ハハホケ
指定ヲ要セズ

○十二月七日午前十時訓

【横須賀】

對馬▲愛宕▲阿武隈▲大鯨▲▽八雲▲
高雄、山城、那珂、春日、陸奥、長門、

▽五十鈴、口鳥海、摩耶、鳳翔

沖風▲峯風▲夕風、口夕立、五月雨、村雨、

春雨、口時雨、白露、有明、夕暮、口龍

曙、潮、口天霧、朝霧、夕霧

伊七▲

富士▲矢尻▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

口大刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲
呂五八、呂五九▲、口伊一、伊二、伊三、

口伊六、伊四、伊五

【石川島】

羽風

【浦賀】

秋風

(霞)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

口神風、野風、波風、沼風

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎▲比叡▲最上▲扶桑▲▽伊勢▲
衣笠、青葉、長鯨▲▽熊野、三隈▲鈴谷、

日向、鬼怒、▽神通、大井

夕顔、矢風、口東雲、白雲、口浦波、磯波、
敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一、伊五五、伊七一▲

口呂三四、呂三三、口伊五三、伊五四、

口伊五七、伊五六、伊五八、口伊六八、

伊六九、伊七〇

攝津、隱戸

(蒼龍)▲(千歲)▲(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

(山雲)▲(峯雲)▲

【神戸】

口伊七二、伊七三▲、呂六四▲

【相生】

常磐▲

【江田内】

石廊▲

【舞鶴】

吾妻▲

叢雲▲、薄雲▲

伊五二▲

【佐世保】

赤城▲磐手▲加古、▽榛名、▽霧島、金剛▲
▽由良、名取、▽川内、▽迅鯨、羽黒、那智、

▽球磨、北上、▽龍驤

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲菫▲、口蓼▲、
菱▲蓬▲、口夕風、朝風、口文月、水無月、

長月、皁月、□初霜、若葉、子日、初春、
 □陸月、如月、彌生、卯月、滿潮、大潮、
 □疾風、追風
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六八、
 呂六五、呂六七、□伊六三、伊五九、
 伊六〇、□伊二二、伊二一、□伊二三、
 伊二四
 □千鳥、初雁、友鶴、真鶴
 敷島▲、間宮、鶴見、洲崎、野島、佐多
 (夏雲)▲(伊七四)▲
 【長崎】(利根)▲
 【馬公】□松風、春風、朝風、旗風
 【基隆】□天龍
 狹霧
 【高雄】□長良、夕張
 【鎮海】□葦
 【釜山】□柿
 【作業地】□出雲、龍田、▽妙高、多摩、▽安宅、
 嵯峨、鳥羽、勢多、壁田、比良、保津、
 熱海、二見、▽木曾、▽神威、白鷹、□足柄、
 ▽沖島、嚴島、▽能登呂、駒橋、勝力、淀、
 ▽加賀、八重山
 栗、梅、逆、□電、雷、櫻、□曉、漣、
 □刈萱、芙蓉、朝顔、□菊月、望月、夕月、

【航海中】
 □呂六六 (四日佐世保發—横須賀)
 知床 (六日基隆發—佐世保)
 帆風 (七日長浦發—下田)
 三日月、□薄、葛、藤、□菊、葵、萩、
 □初雪、吹雪、白雪、□若竹、吳竹、早苗、
 檜、□島風、灘風、沙風、□山風、海風、
 江風、涼風、□朝潮、
 □伊六一、伊六二、伊六四、□伊六五、
 伊六六、伊六七
 □鴻、隼、鶴、鴨、□雉、鷺、雁、鳩
 □掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
 □掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、
 掃一八
 ▽朝日、膠州、早鞆、襟裳、室戸、鳴戸

内令提要追録第三號訂正
 十一月七日


海軍公報

(部内限) 第二千七百八十四號

海軍大臣官房

昭和十二年十二月八日(水)

○通 牒

軍需機密燃第二三三號

昭和十二年十二月七日

海軍省軍需局

關係各廳御中

航空燃料使用區分ノ件中改正ノ件通知

昭和十二年軍需機密燃第四二號航空燃料使用區分ノ件中左記ノ通知ヲラレ候

記

使用區分表中航空八七批發油ヲ使用スベキ發動機中

「金星發動機三型」ノ次ニ「壽發動機三型」ヲ加フ

軍需第四六七號

昭和十二年十二月八日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長
舞鶴要港部軍需部長 殿

海軍公報(部内限) 第二千七百八十四號

昭和十二年十二月八日

一一二二三

工作長主管(金工) 艦營需品備品各螺
切型購買並更新ニ關スル件通牒

本年達第百八十一號改正ニ依ル首題物品ハ既配付豫算内ニ於テ適宜購買シ艦船部隊ニ供用ノモノニ對シテハ逐次更新方取計相成度

追而更新ニ要スル供給豫算ハ請求ヲ俟テ別途告達可相成候

經契第三號ノ二七〇九

昭和十二年十二月二日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

海軍航空機用デュラルミン材板、線、棒、

管、紙及型材購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通株式會社神戶製鋼所、住友金屬工業株式會社、古河電氣工業株式會社ト契約締結致候條別紙ニ依リ處理相成度

(別紙ハ所要ノ向キ之ヲ配付ス)

海軍公報(部内限) 第二千七百八十四號 昭和十二年十二月八日

一三三二

經契第三號ノ一七三〇

昭和十二年十二月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

海軍航空機用四十五瓦デユラルミン材

購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通住友金屬工業株式會社ト契約締結致候條別紙ニ依リ處理相成度

(別紙ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス)

經契第三號ノ一七三二

昭和十二年十二月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

海軍航空機用鋼片鋼棒(角材、丸材、六角棒)

購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通株式會社大同電氣製鋼所日本特殊鋼株式會社株式會社日立製作所ト契約締結致候條別紙ニ依リ處理相成度

(別紙ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス)

經契第三號ノ一七五五

昭和十二年十二月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

海軍航空發動機用發火栓購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通株式會社横河電機製作所、株式會社立川工作所、愛知化學工業株式會社ト契約締結致候條別紙ニ依リ處理相成度

(別紙ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス)

經契第三號ノ一七五六

昭和十二年十二月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

海軍航空發動機用ピストンリング(吸鑄)

衛帶鑽)購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通日本ピストンリング株式會社、理研ピストンリング株式會社ト契約締結致候條別紙ニ依リ處理相成度

(別紙ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス)

○ 辭 令

海軍機關中佐 矢次 有人
第二課勤務ヲ命ス(対前海軍省軍需局)

第三艦隊司令部附
海軍主計中佐 前 田 茂

支那方面艦隊主任出納官吏ヲ命ス
艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計大佐 加藤 信夫

支那方面艦隊主任出納官吏ヲ免ス
艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス(以上対前海軍省經理局支出官)

佐世保海軍經理部部員

海軍主計少佐 深谷 小平

艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス
支那方面艦隊分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計少佐 藤原 一二

艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス
支那方面艦隊分任出納官吏ヲ免ス(以上対前同)

海軍大尉 中島 親孝
同 谷岡 平八郎

(各通)

通信部第十一課勤務ヲ命ス(対前大本營海軍部)

海軍少佐 柚木 重徳
參謀部第二部第三課勤務ヲ免シ同第三部第八課勤務ヲ命ス(対前同)

軍令部出仕海軍少佐 柚木 重徳
第二部第三課勤務ヲ免シ第三部第八課勤務ヲ命ス(対前軍令部)

○ 雜 款

○ 旗艦變更
第二潜水戰隊司令官ハ十二月一日旗艦ヲ迅鯨ヨリ五十鈴ニ變更セリ

第五水雷戰隊司令官ハ十二月七日旗艦ヲ夕張ヨリ多摩ニ變更セリ

○ 司令驅逐艦變更
第六驅逐隊司令官ハ十二月七日司令驅逐艦ヲ電ヨリ響ニ、同八日響ヨリ雷ニ變更セリ

○ 司令掃海艇變更
第十一掃海隊司令官ハ十二月七日司令掃海艇ヲ第十四號掃海艇ニ變更セリ

海軍公報(部内限)第二千七百八十四號 昭和十二年十二月八日

○特務艦鶴見行動豫定變更(十月十九日)

地名	着	發
佐世保	十二月十一日	十二月十日
徳山	十二月十七日	十二月十二日
馬山	十二月十七日	十二月十九日
徳山	十二月二十四日	十二月十九日
佐世保	十二月二十七日	十二月二十六日

○郵便物發送先 驅逐艦峯風宛

自今

横須賀

○郵便物發送先變更(十月十九日) 特務艦鶴見宛

三月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 徳山局留置

○着任、退廳

前任 海軍航空本部 海軍少將 塚原二四三 本月三日退廳
 總務部長
 新任 同 海軍少將 稻垣生起 同 六日着任

新任 水路部長海軍少將 小池 四郎 本月三日着任
 前任 同 海軍中將 太田垣富三郎 同日退廳

○艦装員事務所設置

驅逐艦朝雲艦装員事務所ヲ川崎造船所構内神戸海軍監督官事務所内ニ設置シ十二月三日ヨリ事務ヲ開始セリ

○残務整理

第五戰隊ノ残務整理ハ左記ニ於テ之ヲ行フ

軍艦警手 海軍少佐 猪口力平

○給與取扱

第七潜水隊、第八潜水隊ノ給與ハ大正十三年官房第三六一七號ニ依リ十二月一日ヨリ本隊ニ於テ取扱フ (横須賀防備隊主計長)

○練習生採用試験問題燒却ノ件依頼

十月三十日附發送ノ左記練習生採用試験問題ハ改訂再送可致ニ付速ニ燒却相成度

第五十七期高等科機關術(練習生採用試験問題) 第四十八期高等科電機術(練習生採用試験問題) (海軍工機學校)

(海軍工機學校)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十二月八日午前十時調

【横須賀】

對馬▲愛宕▲阿武隈▲大鯨▲▽八雲▲
高雄、山城、那珂、春日、陸奥、▽長門、
▽五十鈴、口鳥海、摩耶、鳳翔

沖風▲峯風▲夕風、口夕立、五月雨、村雨、
春雨、口時雨、白露、有明、夕暮、口臘、
曙、潮、口天霧、朝霧、夕霧

伊七▲、口呂六六、伊二、伊三、口伊六、
伊四、伊五

富士▲、尻矢▲
(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲
呂五九▲、呂五八、口伊一

【石川島】

羽風

【浦賀】

秋風

【館山】

澤風▲

【下田】

帆風

【大湊】

口神風、野風、波風、沼風

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、扶桑▲、伊勢▲、
衣笠、青葉、長鯨▲、▽熊野、三隈、鈴谷、

日向、鬼怒、▽神通、大井、
夕顔、矢風、口東雲、白雲、口浦波、磯波、
敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲
呂二八、伊五一、伊五五、伊七一▲

口呂三四、呂三三、口伊五三、伊五四、
口伊五七、伊五六、伊五八、口伊六八、
伊六九、伊七〇

攝津、隠戸
(蒼龍)、(千歳)、(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

(山雲)▲、(峯雲)▲
口伊七二、伊七三、呂六四▲

【相生】

常磐▲

【江田内】

石廊▲
平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻▲
叢雲▲、薄雲▲

【佐世保】

(筱)▲
赤城▲、磐手▲、加古、八重山、▽榛名、▽霧島、
金剛▲、▽由良、名取、▽川内、▽迅鯨、
初黒、那智、北上、▽龍鳳、
梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、口黎▲

海軍公報(部内限) 第三千七百八十四號

昭和十二年十二月八日

一三三五

菱▲蓬▲、□夕風、朝風、□文月、水無月、長月、皐月、□初霜、若葉、子日、初春、□陸月▲、如月▲、彌生、卯月、滿潮、大潮、□疾風、追風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六八、呂六五、呂六七、□伊六一、伊六二、伊六四、□伊六五、伊六六、伊六七、□伊六三、伊五九、伊六〇、□伊二三、伊二四

□千鳥、初雁、友鶴、真鶴
敷島▲、鶴見、洲崎、野島、佐多
(夏雲)▲(伊七四)▲

【長崎】(利根)▲
【基隆】▽天龍 狹霧
【高雄】▽長良
【鎮海】▽檜
【釜山】▽梯
【作業地】□出雲、龍田、▽妙高、多摩、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、▽木曾、▽神威、白鷹、□足柄、▽沖島、嚴島、▽球磨、▽能登呂、駒橋、勝力、淀、▽加賀、栗、梅、蓮、□雷、電、響、□曉、漣

【航海中】

知床 (六日基隆發—佐世保へ)

夕張 (七日高雄發—横須賀へ)

□松風、春風、朝風、旗風 (七日馬公發—横須賀へ)

□刈萱、芙蓉、朝顔、□菊月、望月、夕月、三日月、□薄、葛、藤、□菊、葵、萩、□初雪、白雪、吹雪、□若竹、臭竹、早苗、□島風、灘風、汐風、□山風、海風、江風、涼風、□朝潮、□葦

□伊二一、伊二二、伊二三
□鴻、隼、鶴、鴨、□雉、鷺、雁、鳩
□掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、□掃一四、掃一三、掃二五、掃一六、掃一七、掃一八

▽朝日、膠州、早鞆、襟裳、室戸、鳴戸、間宮

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千七百八十五號

昭和十二年十二月九日(木)

海軍大臣官房

○ 辭 令

(各通)

海軍大佐	大西 新藏
海軍少佐	伊藤 清六
海軍機關中佐	岸川 覺雄
海軍主計中佐	井上 健男

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

海軍中佐	山内 秀夫
同	會 爾 章
同	有田 雄三

(各通)

海軍機關少佐	福永 益哉
同	惣野 尅夫
海軍主計中佐	山川 廣一
海軍主計少佐	福本 酉吉
同	森 寛
海軍教授	福村 省三
同	三島 和介

同	早野 良平
同	土居 善二郎
同	田代 芳郎
同	岡本 圭次郎

海軍生徒採用試験常置委員ヲ免ス(以上均前海軍省)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
第二十五驅逐隊司令ハ十二月八日司令驅逐艦ヲ朝潮ヨリ大湖ニ變更セリ

○郵便物發送先
第二十七驅逐隊(蓼、蓬、菱)宛
自今 佐世保局氣付(軍事郵便)

○着任、退廳
新任 海軍總理 海軍主計少將 大東 健夫 本月六日着任
前任 同 海軍主計中將 佐々木 重藏 同日退廳

海軍公報(部内限) 第二千七百八十五號 昭和十二年十二月九日

一三二七

0625

海軍公報(部内限) 第二千七百八十五號 昭和十二年十二月九日

三三八

○速達郵便料金ノ件
當隊ハ郵便區市外ニ在リ然ルニ當隊宛速達郵便物ハ概
ネ郵便區市内宛ニ依ル料金(八錢)貼付セラレ整理上
甚ダ困惑致居候ニ就テハ自今郵便區市外宛ニ依ル料金
(八軒以内參拾錢)ヲ貼付ノ上發送相成度

(大村海軍航空隊
大湊海軍航空隊)

○艦船所在

▲印 ▲ハ ▲ホ ▲フ
指定ヲ要セズ

○十二月九日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、▽八雲▲、
高雄、山城、那珂、春日、▽陸奥、▽長門、
▽五十鈴、▽鳥海、摩耶、鳳翔

沖風▲、峯風▲、夕風、▽夕立、五月雨、村雨、
春雨、▽白露、時雨、有明、夕暮、▽朧、
曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧

伊七▲、▽呂六六、伊二、伊三、▽伊六、
伊四、伊五

富士▲、尻矢▲

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高橋)▲

【長浦】

▽太刀風、帆風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八、▽伊一

【石川島】 羽風

【浦賀】 秋風

(霞)▲

【館山】 澤風▲

【大湊】

▽神風、野風、波風、沼風

【函館】

大泊

【奥】 矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、扶桑▲、伊勢▲、
衣笠、青葉、長鯨▲、▽熊野、三隈、鈴谷、
日向、鬼怒、▽神通、大井

夕顔、矢風、▽東雲▲、白雲▲、▽浦波、磯波、
敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一、伊五五、伊七一▲

▽呂三四、呂三三、▽伊五三、伊五四、
▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊六八、
伊六九、伊七〇

攝津

(蒼龍)、(千歲)▲、(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

(山雲)▲、(峯雲)▲

【神戸】

▽伊七二、伊七三、呂六四▲

(荒潮)▲、(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

石廊▲

【江田内】

平戸、淺間

【徳山】

隠戸

【舞鶴】

吾妻▲

叢雲▲、薄雲▲

伊五三▲

(霞)▲

【佐世保】

赤城▲、磐手▲、加古、八重山、▽榛名、▽霧島

金剛▲、▽由良、名取、▽川内、▽迅鯨

羽黒、那智、北上、▽龍磯

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、柏▲、莖▲、▽蓼▲

海軍公報(部内限) 第二千七百八十五號

昭和十二年十二月九日

二二二九

菱▲蓬▲ ㊦夕風、朝風、㊦文月、水無月、
長月、皐月、㊦初霜、若葉、子日、初春、
㊦睦月▲、如月▲、彌生、卯月、㊦大潮、滿潮、
朔潮

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六四▲、
呂六五、呂六七、㊦伊六一、伊六二、
伊六四、㊦伊六五、伊六六、伊六七、
伊六三、伊五九、伊六〇、㊦伊二三、
伊二四

㊦千鳥、初雁、友鶴、真鶴
敷島▲、鶴見、洲崎、佐多
(夏雲)▲(伊七四)▲

【長崎】(利根)▲

【馬公】㊦若竹、吳竹、早苗

【基隆】㊦曉、狹霧

【鎮海】㊦梯、楡

【作業地】㊦出雲、㊦天龍、龍田、㊦妙高、㊦安宅、嵯峨、
鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
㊦木曾、㊦長良、㊦神威、白鷹、㊦足柄、
㊦沖島、殿島、㊦球磨、㊦能登呂、駒橋、
勝力、淀、㊦加賀
栗、梅、蓮、㊦雷、電、櫻、漣、㊦刈萱、
芙蓉、朝顔、㊦菊月、望月、夕月、三日月、
㊦薄、葛、藤、㊦菊、葵、萩、㊦初雪、白雪、

吹雪、㊦島風、灘風、沙風、㊦山風、海風、
江風、涼風、㊦葦

㊦伊三二、伊三三
㊦鴻、隼、鶴、鴨、㊦雄、鷲、雁、鳩
㊦掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
㊦掃一四、掃一三、掃一五、掃一六、掃一七、
掃一八

㊦朝日、膠州、早鞆、襟裳、室戸、鳴戸、
間宮、野島

【航海中】

知床 (六日基隆發—佐世保へ)
夕張 (七日高雄發—横須賀へ)
㊦松風、春風、朝風、旗風 (七日馬公發—横須賀へ)
㊦疾風、追風 (七日佐世保發)
多摩 (九日馬公發—高雄へ)

(辭令公報添)

(限 内 部)

0628

海軍公報 (部内限) 附録

海軍大臣官房

昭和十二年十二月九日(木)

昭和十二年七、八月中ニ於ケル艦船恩給年加算始終期左ノ通

(海軍省軍務局)

(當分ノ間恩給年叙勳年加算調書ニ記入セザルコト)

衣笠	霧島	榛名	陸奥	長門	龍田	艦船名	加算始終期(左右)		著地名	行先	任務	加算率(一月)		記事
							始期	終期				恩給	叙勳	
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	
二四	二四	二四	二五	二五	二七	二七	二七	二七	北支方面	外國鎮戍	一月半	同上		
吳	多度津	熱田	佐世保	三津濱	小松島	佐世保	佐世保	佐世保	中支方面	外國鎮戍	一月半	同上		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		

海軍公報 (部内限) 附録

多	龍天	摩	高	羽		足	妙	那	青
摩	田龍	耶	雄	黒		柄	高	智	葉
七	七	八	八	八	八	七	八	八	八
三〇	二九	二四	一三	二四	二四	八	三〇	二四	二四
旅順	吳	高	名古屋	佐世保	名古屋	佐世保	馬	名古屋	吳
同	北支方面	中支方面	北支方面	同	中支方面	同	南支方面	同	中支方面
同	同	同	同	同	外國鎮戍	同	同	同	外國鎮戍
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報 (部内限) 附録

川内	鬼怒	由良	名取	五十鈴	大井	木曾	北上		
七	八	八	八	八	八	八	八	八	八
七	一〇	一〇	一〇	二五	二七	二二	一四	三〇	二
長竹水道 佐世保	佐世保	佐世保	同	佐世保	多度津 佐世保	同	佐世保	馬公	多度津 佐世保
北支方面	同	同	同	同	同	同	同	中支方面	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

神威	龍驤	加賀		鳳翔	夕張		神通		八
七	八	八	八	八	八	七	八	八	八
一〇	一二	二七	一〇	一二	三一	二九	二〇	一五	一〇
伊勢灣	佐世保	同	寺島水道 佐世保	佐世保	同	馬公	熱田 旅順	佐世保 六連島	佐世保
	同	同	同	中支方面	同	南支方面	中支方面	北支方面	中支方面
	同	同	同	同	同	同	同	同	外國鎮戍
	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報(部内限)附録

沖島	白鷹	嚴島	大鯨	長鯨	迅鯨		駒橋	
七	八	八	八	八	八	八	八	七
一〇	一四	二六	一九	二二	二八	二一	二二	一六
伊勢灣	同	佐世保	横須賀	同	大連	佐世保	鎮海灣	横須賀
	同	同	同	中支方面	北支方面	北支方面	中支方面	
	同	同	同	同	同	同	外國鎮戍	外國鎮戍
	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報(部内限)附録

0633

野風	安宅	淀					出雲	勝力			
七	七	八	八	八	八	七	七	八	八	七	七
二八	三一	二六	二二	二一	二二	二二	九	三五	一七	二八	一七
大	奥	同	同	同	同	同	高	馬	高	基	馬
湊						瀬	雄	公	雄	隆	公
	中支方面	同	同	同	北支方面	中支方面	同	支那海			
	同	同	同	同	同	外國鎮戍	同	遠洋航海			
	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月三分ノ	一月三分ノ			
	同上	同上	同上	同上	同上	同上					

海軍公報 (部内限) 附録

六

海軍公報 (部内限) 附録

朝風		太刀風		夕風		矢風		神風	沼風
			二三		二三		二三		
八	八	七	八	八	八	八	八	八	七
一四	六	一八	二六	二八	二五	三一	二二	二二	二二
同	同	馬	同	同	同	同	同	大	大
		中城灣	佐世保				佐世保	波風	湊
同	南支方面	同	同	同	同	同	中支方面	三二	
同	同	同	同	同	同	同	外國鎮戍	七	
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	同	
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	塘察加	
								外國鎮戍	
								一月半	
								同上	

響		電雷		旗風			松風		春風	
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
二	一	二	一	二	一	七	二	七	二	七
一	七	一	六	九	五	七	九	三	六	一
同	同	同	旅	馬	基	同	同	馬	同	馬
		順		公	隆	公		公		公
中支方面	北支方面	中支方面		同	同	同	同	同	同	南支方面
同	同	同	外國鎮戍	同	同	同	同	同	同	外國鎮戍
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報(部内限)附録

0636

白 雪	曉狹 霧	漣	天夕 霧霧	朝 霧	潮隴路
一二	一二	一二	一二	一二	一二
八七	八八	八八	八八	八八	八七
二〇	一七	一五	二〇	二〇	二九
旅 佐 順 世保	同 同	同 同	旅 名 順 古屋	旅 名 順 古屋	佐 寺 世 島 保 水道
同	北支方面	中支方面	北支方面	同	中支方面
同	同	同	同	同	同
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報 (部内限) 附録

九

阜 月	初子初 葉霜日春		磯 波	吹 雪	敷綾 波波	浦 波	初 雪
八	八	七	八	七	八	八	八
一四	一〇	三〇	一六	三〇	三〇	一六	一〇
佐世保	同	佐世保	佐世保	同	旅順	佐世保	同
同	中支方面	同	同	北支方面	同	同	北支方面
同	同	同	同	同	同	同	外國鎮戍
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報 (部内限) 附録

夕 月	望 月	三 日 月	菊 月		長 月		水 無 月	文 月	
..... 一三 一二 一二 一二
七 二八	八 一三	八 一四	八 一四	七 二八	八 二七	八 二六	八 一〇	八 二七	八 二六
同 旅 順	同 佐 世 保	同 佐 世 保	同 佐 世 保	同 旅 順	同	同 佐 世 保	同 寺 島 水 道	同	同 佐 世 保
北 支 方 面	同	同	中 支 方 面	北 支 方 面	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一 月 半	一 月 半	一 月 半	一 月 半	一 月 半	一 月 半	一 月 半	一 月 半	一 月 半	一 月 半
同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上

海軍公報(部内限)附録

夕風		朝風		疾風			追風		
八	七	八	七	八	八	八	八	八	八
一二	一〇	三〇	六	一九	一八	六	八	六	一四
九十九島灣	伊勢灣	同 佐世保	二見	同	同	馬 佐世保公	同	馬 佐世保公	佐世保
中支方面		中支方面		同	同	同	同	南支方面	中支方面
外國鎮戍		外國鎮戍		同	同	同	同	同	外國鎮戍
一月半		一月半		一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上		同上		同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報(部内限)附録

江 風	山海 風風		五 月 雨	春 雨	夕村 立雨	時白夕有 雨露暮明	卯彌如睦 月生月月
一三	一二			一二			
八	八	八	七 七	八	八 七	七 七	八
一八門司	二〇多度津	一〇同	三〇佐世保 二二長竹水道	二六舞鶴	一〇同 三〇佐世保 二二長竹水道	一〇同 三〇佐世保 二五長竹水道	一二佐世保
同	同	中支方面	北支方面	同	中支方面 北支方面	中支方面 北支方面	同
同	同	同	同	同	同	同	同
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

0641

菊	早			吳			若			
	苗			竹			竹			
七	八	八	八	八	八	八	八	八	七	七
四	二	二	一	二	二	三	二	二	三	三
旅	同	同	馬	同	同	同	同	同	同	馬
順			公			公				公
	同	南支方面		同	同	同	同	同	同	南支方面
	同	外國鎮成		同	同	同	同	同	同	外國鎮成
	一月半	一月半		一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報(部内限)附録

一四

芙蓉	朝顔		萩		葵					
八七	八	八七	八	八七	八七	七	八七	七七	七七	七七
七九 大馬 山公 列島	六 同	四九 旅馬 順公	七 同	六三 同同	二三 同同	四 旅 順	二二 同同	二五 同同	二四 同同	二八 同同
北支 方面	北支 方面	北支 方面	同	同	北支 方面		同	同		北支 方面
同	同	同	同	同	同		同	同		外國 鎮成
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半		一月半	一月半		一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上		同上	同上		同上

海軍公報 (部内限) 附録

鳩鷺雉		友	隼	鵬	鴻初真千	刈			
		鶴			雁鶴鳥			萱	
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
二八	二〇	一五	一八	一三	一四	二九	二二	四九	七
裏長山列島	佐世保	寺島水道	佐世保	基隆	佐世保	同	佐世保	馬公	大黒山列島
中支方面	北支方面	同	中支方面	南支方面	中支方面	南支方面	中支方面	北支方面	南支方面
同	同	同	同	同	同	同	同	同	外國鎮成
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報 (部内限) 附録

0644

室 戸	第七十 第六十九 第六十八 第六十七 第六十六 第六十五 第六十四 第六十二 第六十一 伊號第六十二潜水艇	伊號第一潜水艇 第六 第五 第六	第十八號 第十七號 第十六號 第十五號 第十四號 第十三號 第十二號 伊號第六十二潜水艇	第三號掃海艇	第一號掃海艇
一二				一二	一二
八	八	八	八	八	八
一六	二八	二〇	一四	一八	一四
佐世保	裏長山列島	佐世保	佐世保	佐世保	佐世保
中支方面	北支方面	中支方面	中支方面	同	同
同	同	同	外國鎮戍	同	同
一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上	同上	同上	同上

海軍公報(部内限)附録

一七

佐多	襟裳		知床		洲崎		野島		
				一一三			一一三		
七一	八二六	八三九	八二七	八一〇	八二一	七二四	八二七	八三一	八三〇
德山	德山	大湊	同	同	德山	横須賀	佐世保	同	吳
	露領オハ		同	中支方面	露領オハ		同	同	中支方面
	遠洋航海		同	外國鎮戍	遠洋航海		同	同	外國鎮戍
	一三分ノ月		一月半	一月半	一三分ノ月		一月半	一月半	一月半
			同上	同上			同上	同上	同上

海軍公報(部内限)附録

海軍公報 (部内限) 附録

間宮	隱戸				早鞆		鳴戸	鶴見	
八八 二七	八 三〇	八八 二七	八七 一七	七 一	八八 二七	七七 二八	八 二八	八 一二	八八 二九
佐世保	同	佐世保	徳山	吳	佐世保	徳山	裏長山列島	同	濟州島
同	同	中支方面	露領オハ		中支方面	露領オハ	北支方面	同	中支方面
同	同	外國鎮戍	遠洋航海		外國鎮戍	遠洋航海	同	同	外國鎮戍
一月半	一月半	一月半	一三分ノ月		一月半	一三分ノ月	一月半	一月半	一月半
同上	同上	同上			同上		同上	同上	同上

江之島	那智山丸	立神	甲谷陀丸		朝光丸	べるふはすと丸	朝日		攝津
一二	一二	一二	一二		一二	一二	一二		一二
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
二二	一一	一八	三〇	二六	二〇	二七	一八	三一	二二
同	馬西戸崎	佐世保	佐世保	同	佐世保	濟州島	吳	同	佐世保
南支方面	南洋	同	同	同	同	同	同	同	同
外國鎮戍	遠洋航海	同	同	同	同	同	同	同	外國鎮戍
一月半	三分ノ月	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半	一月半
同上		同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
	(特設運送船)		(特設運送船)		(同)	(特設運送船)			

0648

吹初白曉狹礎電雷	矢	駿長大木	烏	衣笠丸	朝日丸	天洋丸
雪雪霧	風	島鯨井曾	海			
一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
七	八	七	八	八	八	八
二八	五	二八	七	二四	三一	二二
				同	同	下
				同	同	關
				同	同	中支方面
聯合艦隊	同	同	聯合艦隊	同	同	同
一三分ノ	一三分ノ	一三分ノ	一三分ノ	一月半	一月半	一月半
				同上	同上	同上
				(特設運送船)	(特設病院船)	(特設運送船)

海軍公報(部内限)附録

三一

第六號		第七號		第八號		第九號		第十號		第十一號		第十二號		第十三號		第十四號		第十五號		第十六號	
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

海軍公報 (部内限) 附録

三三二

0650

攝津	早鞆
..... 一三 一三
..... 八 七
..... 五 二八
.....
同	聯合艦隊
一分ノ月	一分ノ月
.....
.....

○訂正

恩給年 加算調書上巻中
叙勳年

多摩ノ部 (92) 九行目「一、二三」ハ「一、二三」ノ誤

六月中ニ於ケル艦船恩給年加算始終期中

④

早鞆ノ部 六、七 佐世保發ハ六、七 佐世保着ノ誤

海軍公報 (部内限) 附録

一三